

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山梨県

行事名称	第70回文化財防火デー 尾県郷土資料館火災防御訓練
実施期間・日時	令和6年1月27日(土) 10:00~11:00
実施場所	山梨県有形文化財旧尾県学校校舎(山梨県都留市)
主催者	都留市消防署、小形山自治会、尾県郷土資料館協力会、都留市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

資料館1階東展示室から出火、2階へ延焼拡大、さらに開口部からの噴出した火炎により、隣接する稲村神社へも延焼する恐れがある。

訓練の内容

火災を発見した見学者(市教委職員)の《火事だー》の合図で訓練開始。館長は見学者を避難誘導し、119番通報する。防火協力会員による重要物品(模擬)の搬出、消火栓からの放水・バケツリレーによる火災防御。隣接する稲村神社境内地において自主防災会・地元消防団・消防署が神社脇の木に向け放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

- ・資料館館長(1名): 119番通報、見学者の避難誘導
- ・資料館防火協力会員(30名): 初期消火(バケツリレー)、重要物品の搬出、放水訓練
- ・地元消防団(10名): 放水訓練
- ・都留市消防署(8名): 全体統括、放水訓練、講評
- ・小形山自治会(10名): 初期消火(バケツリレー)、放水訓練
- ・都留市教育委員会(1名): 現場立会い・火災発見見学者役
- ・地元交通安全協会(2名): 交通整理
- ・見学者(15名) 地元住民の方々(小学生、幼児含む)

特に工夫した点

訓練後に、隣接する神社の境内で、水消火器による消火訓練と開催し、参加者に消火器の使い方の指導をおこなった。なお、見学に来ていた小学生に重点的に参加してもらった。

問題点・課題

防火協力会員・自主防災会として活動する方々の高齢化が顕著であり、若い世代の参加が今後の課題と考えられる。

その他

この地区では、文化財防火デーに伴う消防訓練を長年実施してきており、定着しているので、今後も継続していきたい。

訓練風景



通報



重要物品の搬出



初期消火訓練風景 (バケツリレー①)



初期消火訓練風景 (バケツリレー②)



自主防災会・地元消防団・消防署による放水訓練



消火器の使用法指導